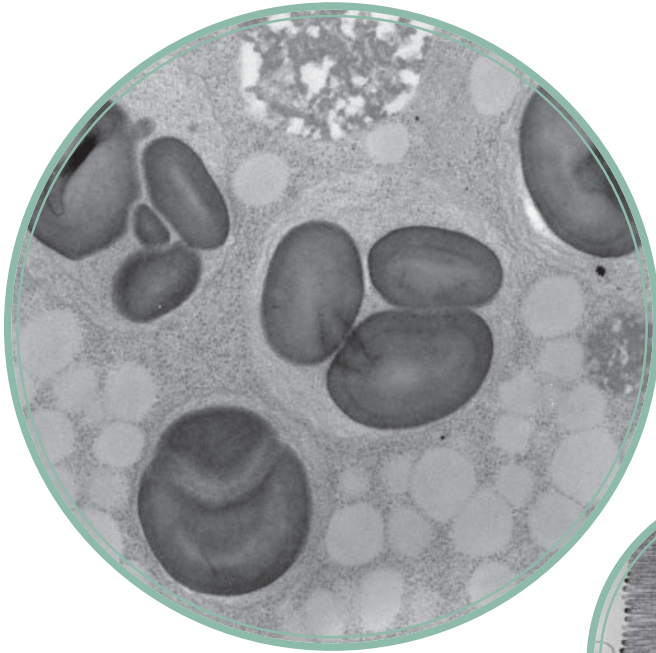
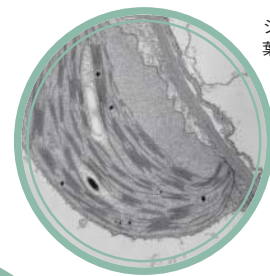


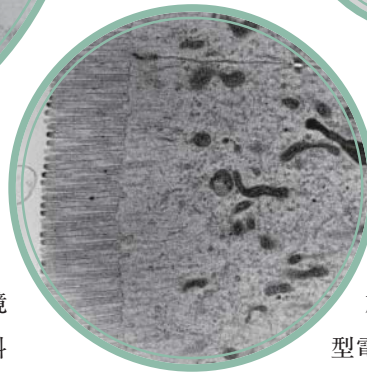
ミクロの世界をのぞいてみませんか



イネの胚の柔細胞
(黒い顆粒はデンプン粒)



シロイヌナズナの
葉緑体



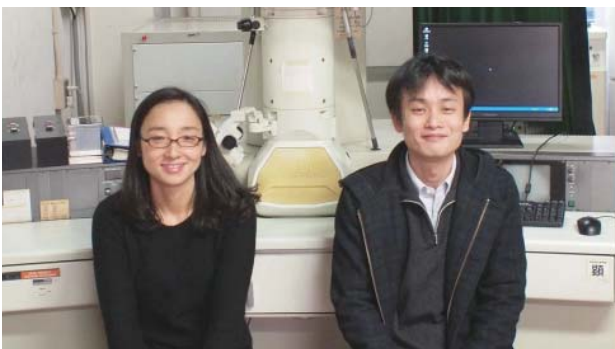
ティラピアの腸の吸収上皮細胞
(表面が微絨毛に覆われている)

電子顕微鏡は電子線を用いて試料の拡大像を得る顕微鏡です。ナノオーダーの形態観察から、電子線の干渉や試料との相互作用を利用して微細な結晶解析や元素分析も行えます。農学部でも電子顕微鏡は教育研究に幅広く活用されてきました。しかし電子顕微鏡は装置が高価な上に整備にも知識と熟練を要するため、農学部では電子顕微鏡を共同利用設備として維持管理しています。設備としては、電界

放出型走査電子顕微鏡、透過型電子顕微鏡、ウルトラマイクロームや急速凍結装置など、様々な観察に対応できる装置が設置されています。

これまで電子顕微鏡室は各専攻の運営幹事が機器の維持管理を行ってきましたが、2010年4月より、技術基盤センターの一部門「ミクロ観察系技術室」として再スタートを切りました。それにともない2名の専任技術職員が配属されました。電子顕微鏡観察は煩雑な作業が多くて敬遠されがちですが、ミクロ観察系技術室ではスタッフが試料作製から観察まで技術サポートしています。

「百聞は一見にしかず」、一枚の美しい写真は他の分析装置では得られない説得力があります。興味がある方、是非気軽にお立ち寄りください。



技術職員 左:石網史子さん 右:富田憲司さん

生物材料科学専攻 木村 聡 助教